2027年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上場会社名　BRUNO株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3140　URL https://bruno-inc.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 塩田　徹
問合せ先責任者　(役職名) 常務執行役員CFO管理本部長　(氏名) 佐々木　衛　TEL 03-6631-0000

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年6月期第1四半期の連結業績(2026年7月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年6月期第1四半期	2,936	△15.0	129	282.3	209	331.1	132	△22.7
2026年6月期第1四半期	3,455	3.0	34	―	48	―	170	―

(注) 包括利益　2027年6月期第1四半期　126百万円　(△30.1%)　2026年6月期第1四半期　181百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年6月期第1四半期	9.20	―
2026年6月期第1四半期	11.91	―

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年6月期第1四半期	10,278	5,972	58.1
2026年6月期	10,407	6,010	57.7

(参考) 自己資本　2027年6月期第1四半期　5,972百万円　2026年6月期　6,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年6月期	―	0.00	―	11.50	11.50
2027年6月期	―				
2027年6月期(予想)		0.00	―	11.50	11.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 6月期の連結業績予想(2026年 7月 1日～2027年 6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,100	9.5	960	69.2	840	92.2	710	△13.2	49.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年6月期1Q	14,717,350 株	2026年6月期	14,717,350 株
② 期末自己株式数	2027年6月期1Q	374,750 株	2026年6月期	374,750 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年6月期1Q	14,342,600 株	2026年6月期1Q	14,342,615 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)
四半期決算補足説明資料は、2026年11月13日までに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 11
（重要な後発事象） …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（2026年７月１日から2026年９月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いた一方、物価上昇や為替変動等により、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、ブランド価値と収益性を重視した事業運営を継続的に推進し、高粗利商品への集中及び販路の最適化、商品在庫の適正化並びに商品開発プロセスの効率化に取り組みました。商品面では、オートクックポットや蓋つきステンレスマグ等の販売が伸長したほか、ガラスエアフライヤーの販売促進や季節家電等の商品展開を進めました。

売上面では、住関連ライフスタイル商品小売事業において、ＥＣ・通販及びカタログギフトが前年同期を上回った一方、店舗売上は前年同期を下回り、同事業全体では概ね前年同期並みとなりました。住関連ライフスタイル商品製造卸売事業では、国内卸売が前年同期を下回ったことに加え、中国における事業モデルを従来の卸売からライセンス供与を中心とする形態へ転換したことにより、海外卸売の売上高が減少しました。一方、当該ライセンス取引を計上するデザイン事業の売上高及び利益は前年同期を上回りました。

利益面では、仕入及び在庫のコントロール並びに原価率改善施策を継続的に実施したことにより、売上総利益率が改善し、売上総利益は前年同期と概ね同水準となりました。また、販売費及び一般管理費の最適化に取り組んだ結果、販売費及び一般管理費は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は2,936百万円（前年同期は3,455百万円、前年同期比15.0％減）、営業利益は129百万円（前年同期は34百万円、前年同期比282.3％増）、経常利益は209百万円（前年同期は48百万円、前年同期比331.1％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は132百万円（前年同期は170百万円、前年同期比22.7％減）となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

①住関連ライフスタイル商品製造卸売事業

国内卸売が前年同期を下回ったほか、中国における販売代理店との取引形態を卸売からライセンス供与を中心とするものへ移行した影響により、売上高は1,310百万円（前年同期は1,868百万円）、営業利益は132百万円（前年同期は183百万円）となりました。

②住関連ライフスタイル商品小売事

ＥＣ・通販及びカタログギフトが前年同期を上回りました。店舗販売においては、季節商品等の販売が前年同期を下回ったこと等により、売上高は前年同期を下回りましたが、キッチン用品やインテリア商品等の販売が伸長するなど、一部の商品カテゴリーでは改善が見られました。この結果、売上高は1,572百万円（前年同期は1,577百万円）、営業利益279百万円（前年同期は248百万円）となりました。

③デザイン事業

中国における販売代理店とのライセンス取引等により、売上高は53百万円（前年同期は９百万円）、営業利益53百万円（前年同期は９百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における総資産の残高は、10,278百万円（前連結会計年度末は10,407百万円）となり、129百万円減少しました。

流動資産は、8,201百万円（前連結会計年度末は8,080百万円）となり、121百万円増加しました。これは短期貸付金の減少（500百万円）があったものの、現金及び預金の増加（87百万円）や受取手形及び売掛金の増加（340百万円）、商品及び製品の増加（146百万円）等があったことによるものであります。

固定資産は、2,076百万円（前連結会計年度末は2,327百万円）となり、250百万円減少しました。これは有形固定資産の増加（12百万円）があったものの、無形固定資産の減少（29百万円）や長期貸付金の減少（175百万円）、繰延税金資産の減少（61百万円）等があったことによるものであります。

流動負債は、2,224百万円（前連結会計年度末は2,264百万円）となり、39百万円減少しました。これは支払手形及び買掛金の増加（96百万円）等があったものの、契約負債の減少（50百万円）や１年以内返済予定の長期借入金の減少（26百万円）、引当金の減少（８百万円）等があったことによるものであります。

固定負債は、2,081百万円（前連結会計年度末は2,133百万円）となり、52百万円減少しました。これは長期借入金の減少（26百万円）や長期未払金の減少（25百万円）等によるものであります。

純資産は、5,972百万円（前連結会計年度末は6,010百万円）となり、37百万円減少しました。これは主に利益剰余金の減少（32百万円）等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年８月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,130	3,217
受取手形及び売掛金	1,129	1,470
商品及び製品	1,690	1,837
原材料及び貯蔵品	268	280
短期貸付金	800	300
１年内回収予定の長期貸付金	700	700
その他	387	421
貸倒引当金	△26	△26
流動資産合計	8,080	8,201
固定資産		
有形固定資産		
その他（純額）	148	160
有形固定資産合計	148	160
無形固定資産		
のれん	1,197	1,167
その他	56	57
無形固定資産合計	1,254	1,225
投資その他の資産		
繰延税金資産	596	534
長期貸付金	195	20
その他	149	152
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	924	691
固定資産合計	2,327	2,076
資産合計	10,407	10,278
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	898	994
短期借入金	171	177
１年内返済予定の長期借入金	170	144
未払法人税等	47	41
引当金	59	51
契約負債	358	308
その他	559	507
流動負債合計	2,264	2,224
固定負債		
長期借入金	296	269
長期未払金	1,825	1,800
その他	12	11
固定負債合計	2,133	2,081
負債合計	4,397	4,305

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	2,734	2,702
自己株式	△82	△82
株主資本合計	5,980	5,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	27	22
その他の包括利益累計額合計	29	24
純資産合計	6,010	5,972
負債純資産合計	10,407	10,278

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	3,455	2,936
売上原価	2,038	1,531
売上総利益	1,416	1,405
販売費及び一般管理費	1,382	1,275
営業利益	34	129
営業外収益		
受取利息及び配当金	24	29
為替差益	7	11
助成金収入	―	41
その他	0	9
営業外収益合計	33	90
営業外費用		
支払利息	5	2
支払手数料	9	3
売上割引	2	3
その他	1	2
営業外費用合計	18	10
経常利益	48	209
特別利益		
受取和解金	201	―
特別利益合計	201	―
特別損失		
固定資産除却損	0	0
訴訟関連費用	35	―
その他	0	―
特別損失合計	35	0
税金等調整前四半期純利益	214	209
法人税、住民税及び事業税	29	16
法人税等調整額	14	61
法人税等合計	43	77
四半期純利益	170	132
親会社株主に帰属する四半期純利益	170	132

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	170	132
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	10	△5
その他有価証券評価差額金	1	△0
その他の包括利益合計	10	△5
四半期包括利益	181	126
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	181	126

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	住関連ライフスタイル商品製造卸売事業	住関連ライフスタイル商品小売事業	デザイン事業	計		
売上高						
国内卸売	1,340	―	―	1,340	―	1,340
海外卸売	527	―	―	527	―	527
店舗	―	552	―	552	―	552
ＥＣ・通販	―	1,025	―	1,025	―	1,025
その他	―	―	9	9	―	9
顧客との契約から生じる収益	1,868	1,577	9	3,455	―	3,455
外部顧客への売上高	1,868	1,577	9	3,455	―	3,455
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	1,868	1,577	9	3,455	―	3,455
セグメント利益	183	248	9	441	△407	34

（注）１　セグメント利益の調整額△407百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に関する重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	住関連ライフスタイル商品製造卸売事業	住関連ライフスタイル商品小売事業	デザイン事業	計		
売上高						
国内卸売	1,201	―	―	1,201	―	1,201
海外卸売	108	―	―	108	―	108
店舗	―	504	―	504	―	504
ＥＣ・通販	―	1,068	―	1,068	―	1,068
その他	―	―	53	53	―	53
顧客との契約から生じる収益	1,310	1,572	53	2,936	―	2,936
外部顧客への売上高	1,310	1,572	53	2,936	―	2,936
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	1,310	1,572	53	2,936	―	2,936
セグメント利益	132	279	53	465	△335	129

(注) １　セグメント利益の調整額△335百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関する重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	25百万円	12百万円
のれんの償却額	29百万円	30百万円

（重要な後発事象）

該当事項はありません。